

ダニエラ ビアヌエバ

Japanese Service Learning

Site Reflection 6

サービスアクティビティの内省と目標設定

私は10月23日に教えに行きました。生徒は毎日宿題をしていたので、教室に持ち込むのは簡単です。学生の中には、授業に来る前に宿題を終わらせたくない人もいます。宿題をチェックするのは難しいです。私のクラスにいない子供たちは、私が宿題を手伝ってくれるように願っています。いいえと言うのは難しいです。授業では妖怪について話をする予定でした。これは、日本とアメリカの休日が似ていることを教えることができるようにするためです。子供の休日についての教訓を教える前に、休暇はアメリカでは起こらないです。私たちは絵を見せてモンスターやヨカイについて教えました。このテーマはハロウィーンのためでした。私はどのタイプのモンスターがアメリカから来たのかを学生に尋ねました。私たちは多くのアメリカのモンスターの話をします。その後、日本の妖怪の名前と物語を紹介しました。子供たちは妖怪の名前と特徴を書きました。10月25日、生徒たちは妖怪をデザインします。5年生はユニークなデザインをしました。他の生徒は先生の例をコピーしてがっていました。

月曜日に私達は妖怪について話し、水曜日には妖怪をデザインしました。私は水曜日に子供たちが多くの妖怪の名前を思い出したので、それは良いレッスンだったと思います。私は学生が難しいテーマを学ぶのが好きだと思います。私は次回は妖怪を教えなければならないと思います。10人以上の妖怪を学びました。生徒に他の国の話があることを教えることは重要です。アメリカと日本はハロウィンを持っていますが、それは別の出来事です。学生は外国文化をよりよく理解します。私は妖怪について話す時間

を増やす必要があると思うので、学生はユニークなデザインを作ることができます。

私は、生徒が先生の例をコピーすることを心配していました。私は学生が自分の意見を共有したくないと思います。彼らは正しい答えを言いたいと思います。